

肝炎医療コーディネーター 活動ガイドブック

職種別スタートアップ編
～肝C₀ことはじめ～



厚生労働行政推進調査事業費補助金（肝炎等克服政策研究事業）

「多様な病態に対応可能な肝疾患のトータルケアに資する人材育成及びその活動の質の向上等に関する研究」

肝炎医療コーディネーターの皆様へ

肝炎医療コーディネーター(以下肝Co)を取得された皆さんは、肝疾患の患者さんのために日々活動をされていると思います。

「肝Coの研修を受けたので何か活動していきたいな」「今行っている肝Co活動の他にもできることはないかな」などと悩んだりしていませんか？

肝Coの活動は日々の業務の延長線上にあります。自分では「できていない」と思っている、実は「すでに自分の強みを活かした活動ができていた！」なんてことがたくさんあります。

では、あなたの強みとは何でしょう？それを見つけるには、あなたの職種が大きなヒントとなります。どの職種も自分の専門性や立場を強みととらえた活動を行い、他の職種と連携することが肝Co活動の大きなポイントです。

そこで今回、肝Coの皆さんに専門職種ごとにご協力いただき、アンケートおよび座談会を開催し、自分の職種の強みでできる活動を紹介していただきました。自分の職種のページはもちろん、他の職種の強みや肝Co活動事例を見ていただき、連携や活動のヒントにしていただければ幸いです。

日本全国、肝Coの仲間がそれぞれの場所で活躍しています。ぜひみなさんも自信をもって自分の職種の強みを活かした活動に取り組んでみてください！

活動ガイドブックを作成するにあたり、御協力頂きました多くの肝Coの皆様
に深謝申し上げます。



肝Co活動は最高のバトンタッチで

肝Coの活動の基本は『コーディネート』です。皆さんは、自分一人で、すべての活動を担いたいと思っていないですか？患者さんや相談者さんからの相談についてその場ですぐに回答できて、一人前などと思っていないですか？

相談者さんが何を求めているか、何を望んでいるかを知り、その相談事に最も適した肝Coや肝臓専門医につなげる『コーディネート』が重要な活動です。つまり知らない知識はその専門家につなげることが基本的な活動！！

さらに、あなたの強みを使って、つなげ先として活動することができたら肝Co活動として最高の活動ですね。

全国に現在(2024年)までに約3万人を超える肝Coが養成されています。一人ひとりの活動の連鎖はすばらしい活動となります。ですから、まずは気負わずに、自分の立ち位置でやれることからはじめてみませんか？

そして、最高のバトンタッチで連携し、活動を広げていきましょう！



活動の5つのコツ！



①強みを見つける

あなたの得意な分野は何ですか？あなたが自信をもってできることはなんですか？仕事が自分の強みになることもありますし、自分の経験が強みになることもあります。皆さんそれぞれに強みがあります。その強みをまずは見つけてみましょう。この活動なら普段の仕事の中でやっているという方もいるでしょう。しかし、肝Coになったことで見えてくること、知り得た知識によって今までより付加価値がついているはず。それも強みととらえ自信をもって活動に活かしてください！

②自分の肝Co活動をアピール

肝Coの存在や、肝Coのいる場所、肝Coがどのような活動をしているのか、まだまだ周知がされていないのが現状です。自分がどこで、どんな活動をしているかを知ってもらうことが活動につながります。患者さんに知ってもらうことも大事ですが、上司や同僚に肝Coの存在や活動、自分がどんな活動をしているのかを話したことがありますか？知ってもらうことで活動が認められ、活動しやすい環境になることもあります。また、あなたの活動を見てくれている人がいます。その活動を見て仲間が増えることもあります。ぜひ自分の活動をアピールしてみましょう！

③自分の立ち位置で気負わずできる活動から

自分の立ち位置はどこでしょうか？同じ職種でも、予防、受検、受診、受療、フォローアップ等いろいろな場所で活動は違ってきます。まずは自分の立ち位置でできる活動を考え一歩前に進んでみましょう。経験が増えることで、自信につながり活動が広がっていきます。

肝臓専門の部署から異動になって悩まれている方もいるかもしれませんが、それは大きなチャンスです。異動先が肝臓の専門でないからこそ、肝Coの出番です。肝臓専門医につなぐ重要なかけ橋となることができます。

④新しい情報を入手しましょう

知識を増やすことは活動の幅が広がり、活動の自信にもつながります。肝Coのアンテナを立て、多くの情報を知ることが活動のヒントです。

最近、地域の研修会や講演会もwebでの開催が増え、参加できる機会も増えています。是非、情報を得る機会を見つけましょう。

⑤仲間を増やす

一人でできない活動も多くの肝Co仲間と協力することでできることも広がりますし、つなげ先が多いほど活動の安心につながります。つなげ先がわからないときは肝疾患診療連携拠点病院へつなげましょう！きっと力になってくれますよ。